

## 編 集 後 記

「明日の臨床」編集長の大役が回ってきて、初仕事編集後記を書くこと。しゃれたことを書こうなどと考えずに、まずはワープロへ。それにしても何を書いていいか迷うこと、悩むこと。

この号を手にとっていただいた方は、まずは内容の豊富さと、深さを感じていただけるものと思います。それぞれの論文が、それぞれの執筆者の日ごろの実践ふりと、幅広い研鑽を遺憾なく示していて、このようすばらしい医学雑誌を送り出すことができたことは編集者冥利に尽きる思いです。それをもたらしたのは、これまでの編集者の努力と、地道な検討の積み重ねの結果と再確認する思いでもあります。

今号を手にとられ、今までに前例が無かった論文が目にとまったことと思います。原爆症に関する論文、3篇です。それぞれの前文に記されているように、これら論文を掲載することは意義深く、啓発されること多いものと確信します。チョン・ヒョンジュン氏他の論文は、われわれ日本人がともすれば忘れていた朝鮮人被爆者の問題を改めて目の前に突きつけるもので、転載のお許しをしてくださった著者に感謝するとともに、紹介してくださった久永直見先生の卓見に敬服し、日本語訳の労をとっていただいたことに改めて感謝申し上げます。

また、原爆症に関する医師団意見書は、大部ではありますが、該当する患者さんに接する機会がありうるわれわれ医師にとって、大切な視点を提供してくれるもので、診療の合間には是非お目通し頂きたいと思えます。また、この報告書の転載を快くご了解いただいた関係者に感謝申し上げます。

今回の編集者群も、なかなかの見識の持ち主が集まり、編集会議も大いに議論が沸き、充実したものでした。その中で、これまで前例がなかったかもしれない事例が持ち上がりました。投稿いただいた論文の一編の掲載を見合わせ、執筆者に推敲を求めたことです。執筆していただいた著者もわれわれの意をご理解いただき、再執筆することを快く同意してくださいました。異例のこととは思いますが、この「明日の臨床」を真に内容豊かで、権威あるものにしていくため、了解していただいた執筆者に深謝するしだいで。また同時にそのような決定をした自己責任の重さにも思いをいたしています。〔杉藤 徹志〕

---

### 編 集 委 員 (50音順 \*印委員長)

杉 藤 徹 志*	池 山 淳	粥 川 裕 平
高 橋 英 世	松 本 美 富 士	山 本 武 司

---

明日の臨床

Vol.17 No.2

2005年12月25日発行

編 集 明日の臨床編集委員会

発行所 愛知県保険医協会

〒466-8655 名古屋市昭和区妙見町19-2

☎ (052) 832-1345

制 作 (株)東海共同印刷

---

頒価 1,000円・発行部数 6,900部